

令和5年産

# ヒノヒカリ栽培こよみ

○この栽培こよみは、JA米生産基準を兼ねています。

三潴町農業協同組合  
福岡県久留米普及指導センター  
作成:R5.2現在

月	5月	6月			7月			8月			9月			10月	
旬	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
水管理				代かき	浅水たん水	間断かん水	中干し	間断かん水	たん水			間断かん水		落水	
本田主要作業	土づくり	麦ワラのすき込み	耕起・代かき	元肥施用	田植	除草剤散布			穂肥施用		出穂期				成熟期
病害虫防除基準	△内は対象病害虫を表す。	いもち病・コブノメイガ・ウンカ類	●防人箱粒剤(普) 又は ●ブイゲットフェルテラゼクサロンL粒剤 ※播種時処理から出来ます。 50g/箱	△ジャンボたにしくん(普) スクリミリングガイ ※播種時処理は出来ません。 50g/箱	△コラトップ粒剤5(普) 1~2kg	●アプロードスタークルゾル(普) 1,000倍	●モンセレンフロアブル(普) 1,500倍	●アプロードモンカットスタークルF粉剤DL 3~4kg	●トレボン乳剤(普) 1,000倍	●トレボン粉剤DL(普) (カメムシ類は2000倍)	●アルバリン粉剤DL(普) 3kg	△スタークルメイト液剤10(普) 1,000倍	△スタークルメイト液剤10(普) 1,000倍	△アルバリン粉剤DL(普) 3kg	
△基補本正防除															

## 良質米生産重点事項

- 種子更新率 100%・栽培履歴の記帳率 100%
- 適正玄米水分 15% (過乾燥防止)
- 農産物検査の受検
- 麦ワラは土づくりのため全量すき込み

## 施肥基準 収量・品質向上、病害虫回避のため施肥規準を遵守しましょう。

- ◇土づくり 作物にとって土壤を良好な状態に保つため、有機物(堆肥や麦わら等)や土壤改良資材(粒状ミネラルG 160kg/10a)を施用する。
- ◇麦ワラすき込み ①ワラは長めに切る ②麦刈り後の土で12cmはすき込む ③ごく浅水で代かきする ④すき込み3年間程度はちくごのめぐみ444を10kg(一発肥料の場合5kg)を増肥する。
- ◇本田施肥 (10a当り)

前年の 作付	元 肥	穂 肥 (1回のみ)	緩効性肥料の1回全量施用
	ちくごのめぐみ 444	8月10日~12日 幼穂長 3~5mm NK2号又はちくごのめぐみ444	元ヒ一発1号
水稻	40kg	20kg	40kg
大豆	20kg	20kg	30kg

※野菜後は地力が高まり肥料成分も残っているので、1回全量施肥ではなく元肥を基準量の1/3(多くても1/2)程度に減らし、穂肥は生育に応じて減肥する。

## 本田防除基準 農薬の安全使用基準を遵守しましょう。

薬 剤 名	使用量・希釈倍数	使 用 回 数	散 布 時 期	備 考
防 人 箱 粒 剂	50g/箱	1回	播種時～移植当日	ウンカ類・コブノメイガ・いもち病 ※播種時とは覆土前のこと
ブイゲットフェルテラゼクサロンL粒剤	50g/箱	1回	緑化期～移植当日	ウンカ類・コブノメイガ・いもち病 ※緑化期とは被覆資材を取り除く以降のこと。
コ ラ ト ッ プ 粒 剤 5	3~4kg/10a	2回	葉いもちに対しては初発10日前～初発時(7月上旬)、穂いもちに対しては出穂30日前～5日前まで	
ア プ ロ ー ド ス タ ー ク ル ゾ ル	1,000倍	3回	収穫7日前まで	カメムシ類・ウンカ類
モ ン セ レ ン フ ロ ア ブ ル	1,500倍	4回	収穫21日前まで	紋枯病
ア プ ロ ー ド モ ン カ ッ ト ス タ ー ク ル F 粉 剂 DL	3~4kg/10a	3回	収穫14日前まで	カメムシ類・ウンカ類・紋枯病
ト レ ボ ン 乳 剤	1,000倍	3回	収穫14日前まで	ウンカ類・コブノメイガ、(カメムシ類は2000倍)
ト レ ボ ン 粉 剂 D L	3~4kg/10a	3回	収穫7日前まで	カメムシ類・ウンカ類・コブノメイガ
ス タ ー ク ル メ イ ト 液 剂 10	1,000倍	3回	収穫7日前まで	カメムシ類・ウンカ類
ア ル バ リ ン 粉 剂 D L	3kg/10a	3回	収穫7日前まで	カメムシ類・ウンカ類
ジ ャ ン ボ た に し く ン	1~2kg/10a	2回	収穫60日前まで	スクミリングガイ(ジャンボタニシ)。浅水管理にし、水の深い所に集中的に散布する。

※「アルバリン剤とスタークル剤は同じ成分なので、使用回数は両剤合計して3回以内です」

## 除草剤基準

### ◇初期および初中期一発処理

除 草 剂 名	10a当たり使用量	散 布 時 期	備 考
サ ラ プ レ ッ ト KAI1キロ粒剤	1kg	移植時・移植直後～ノビエ2.5葉期まで、但し移植後30日まで	移植時は田植同時散布機で施用
ク サ ホ ー プ D 粒 剤	3kg	移植後3日～ノビエ2.0葉期まで、但し移植後30日まで	
キ ク ニ ジ ャ ー Z フ ロ ア ブ ル	500ml	移植後5日～ノビエ3.0葉期まで、但し移植後30日まで	
マ サ カ リ L ジ ャ ン ボ	10パック	移植後5日～ノビエ2.5葉期まで、但し移植後30日まで	水深5cm程度の湛水状態で均等に投げ込む。

※散布後3～4日は常時湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

### ◇生育中期処理

#### ○ヒエが多く残る場合

除 草 剂 名	10a当たり使用量	散 布 時 期	備 考
クリンチャーワークス E W	1.5kg	移植後25日～ノビエ5葉期まで、収穫30日前まで	湛水散布
クリンチャーワークス M E 液 剂	100ml	移植後20日～ノビエ6葉期まで、収穫30日前まで	湛水散布または落水散布。希釈水量25～100ℓ

#### ○ヒエ・広葉雑草ともに残る場合

除 草 剂 名	10a当たり使用量	散 布 時 期	備 考
ワイドアタックD1キロ粒剤	1kg	移植後15日～ノビエ5葉期まで、収穫60日前まで	湛水散布
クリンチャーワークス M E 液 剂	1000ml	移植後15日～ノビエ5葉期まで、収穫50日前まで	落水散布。希釈水量70～100ℓ

※農薬を使用する際にはラベルに記載されている登録内容や有効期限を遵守してください。

※農薬が圃場外に飛散しないよう風向きや吐出圧力に十分注意してください。

◆お問い合わせ先：三潴町農業協同組合農産課(TEL 64-2213) または 久留米普及指導センター(TEL 0942-47-5101)

JA米とそれ以外を区分してJAに出荷しましょう。